



新年ごあいさつ

2021



白老町議会議長 松田謙吾



白老町長 戸田安彦

新年明けましておめでとございます。町民の皆さまには、令和3年の新春を心穏やかに迎えたいと心よりお慶び申し上げます。昨年は待望の民族共生象徴空間（ウポポイ）が開業し、ポロト湖畔や白老駅周辺が一変しました。町全体にさらなる賑わいが生まれ、新たな風が吹くことを願うものであります。11月30日には、町立病院改築基本方針調査特別委員会において長年の懸案であった、町立病院改築の方向性が明確に示され

新たな風が吹く年に

ました。町民の約半数が高齢者である現状から、一日も早い開設が待ち望まれます。また、令和の新時代に、収束の兆しの見えない新型コロナウイルス感染症が猛威を振るいつけております。役場では職員が感染し、幸い大きな感染拡大はなく、落ち着きを取り戻しつつあります。町内ではコロナ禍による不安と恐怖の日々が続いております。この困難を乗り越え、町民が穏やかな日常生活を過ごせることを望むものであります。連日のテレビによる報道では、

町民が穏やかな生活を

言葉も国籍も異なる世界中の人々が、感染症対策のためマスクを装着する姿が伝えられています。地球に暮らす人々が全てつながっていることをこれほど感じることは、かつてないことと捉えております。今後も議会として、行政と感染症対策を十分に協議し、具体的な対策が一人一人に届き、町民が戸惑うことなく過ごせるよう邁進いたします。結びに、町民の皆さまのますますのご多幸とご健勝をご祈念し、新年のご挨拶といたします。

新年明けましておめでとございます。新年の始まりを迎えるにあたり、町民の皆さまに謹んでご挨拶を申し上げます。大切な人の命を守るため、昨年からの新型コロナウイルスの感染予防に対しご理解とご協力をいただき感謝申し上げます。さて、昨年はウポポイ（民族共生象徴空間）が白老のこの地に誕生した記念すべき一年であり、「ウポポイ元年」として全国的に注目を浴びた年であります。コロナ禍の中、ウポポイ効

白老の名を全国に発信

果により、町内外から多くの来訪者が訪れるなど、ウポポイを核としたまちづくりに手ごたえを感じた一年となりました。町政においても、まちの最上位計画である「第6次白老町総合計画」が動き出し、新たなまちの羅針盤のもと、共生共創のまちづくりに取り組んできたところであります。そこで、本年は、東京オリンピック・パラリンピック大会の聖火リレーの実施が決定している町として、また、アイヌ文化の復興と発展のナショナルセン

まちに活気と賑わいを生み出す

ターがある町として、白老の名を全世界に発信し、まちの知名度アップにつなげていきたいと考えております。そして、ウポポイを町内観光の起爆剤に位置付けながら、まちに賑わいと活気を生み出し、地方創生の更なる推進を図っていく考えであります。結びになります。本年も町政に対する変わらぬご厚誼を賜りますとともに、皆さまにとって健やかで、幸多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。